

火災に備えて

「早期発見」「初期消火」で火災の被害を最小限に!

屋内消火栓設備とは

- 初期消火用の設備で、水源、ポンプ、起動装置、屋内消火栓(開閉弁、ホース、ノズル等)、配管、弁類、非常電源等から構成されています。
- 1号消火栓、易操作性1号消火栓、2号消火栓及び広範囲型2号消火栓に区分されます。



使い方を CHECK!!

消火栓の種類ごとに操作が異なります。
火災発生時に操作できるか使用方法を確認しておきましょう。

1号消火栓



大量の水を高圧で放水
原則2人以上で操作

- ポンプ始動
表示灯点滅
ベル等鳴動

発信機のボタンを押します。
- ホースは乱さずに取り出し、折れ・捻じれなく延長する

扉を開け、ホースを延長し、放水体勢をとります。
- 役割分担
① 筒先を持つ人
② 開閉弁を開放する人

開閉弁を開き放水します。

2号消火栓 / 易操作性1号消火栓 / 広範囲型2号消火栓



1人で操作可能

- ポンプは、開閉弁を開放すると起動する。
※ホースの延長操作、ノズルの開放により起動するものもあります。

開閉弁を開放します。
- ノズルを持ちホースを延長し、ノズルを開き放水します。

定期的に訓練をしましょう。

屋内消火栓設備がうまく使えた!

学校のロッカー内から出火し、火と煙に気づいた教員が他の教員に知らせ、同僚と屋内消火栓設備を使用して消火活動を行い消火に成功した。



こんな事案も……

ホースを延長したが、ポンプの起動装置を押さなかったため使用できなかった。

ホースを延長する時にホースが絡まり上手く放水できなかった。



**屋内消火栓設備は水を放出します。
そのため電気火災・油火災の消火には適しません。
火元を確認してから消火しましょう。**

ココを
CHECK!!

- 設置場所はどこか。消火栓扉の開閉に障害となる物品はないか。
- ポンプの起動方法は理解しているか。
- 表示灯は点灯しているか。
- 消火栓箱内のノズルが接続されているか。ホースに損傷はないか。

**防火対象物の関係者は、消防用設備等を点検し
報告する義務があります。**

(消防法第17条の3の3)

▼詳細はこちら

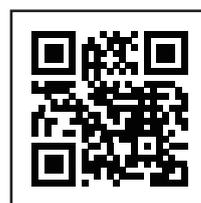
点検時期は

機器
点検

6か月ごと

総合
点検

1年ごと



一定規模以上の建物の管理権原者は、防火管理者を定め消防計画に基づく消防用設備等の点検及び整備を含む防火管理上必要な業務を行わせなければなりません。(消防法第8条第1項)

点検
未実施

消防機関へ
未報告



消防法に基づく

命令や罰則の対象となります。

一般財団法人
日本消防設備安全センター
違反是正支援センター

